

第 2 7 1 回幹事会議事要旨

日 時 平成 3 0 年 1 0 月 2 5 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 5

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 山極 壽一

(副会長) 三成 美保、渡辺 美代子、武内 和彦

(第一部) 佐藤 岩夫、藤原 聖子、橋本 伸也、町村 敬志

(第二部) 平井 みどり、武田 洋幸、丹下 健

(第三部) 大野 英男、高橋 桂子、米田 雅子

(事務局 長) 山本 茂樹

(事務局次長) 荒木 潤一郎

(課 長 等) 酒井 千冬、西澤 立志、犬塚 隆志、小島 宗一郎

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 「特任連携会員の推薦様式について」の一部を改正することを決定した。

(2) 「産学官連携功労者表彰要領」を改正することを決定した。

(3) 幹事会附置委員会の設置 (2 件) 及び委員会委員 (新規 1 件) を決定した。

○委員会の設置及び委員会委員の決定

・日本の展望 2 0 2 0 委員会

○委員会の設置

・財務委員会

(4) 機能別委員会における運営要綱の一部改正 (新規設置 1 件) 及び分科会等委員 (【分科会】新規 1 件、【小分科会】新規 1 件) を決定した。

○分科会の設置及び分科会委員の決定

・科学者委員会研究評価分科会

○小分科会委員の決定

・科学者委員会男女共同参画分科会アンケート検討小分科会

(5) 分野別委員会における運営要綱の一部改正 (名称変更 1 件) 及び委員会等委員 (【分科会】追加 2 件、【小委員会】新規 1 件) を決定した。

(6) 課題別委員会における委員会委員 (追加 2 件) を決定した。

○委員会委員の設置

・人口縮小社会における問題解決のための検討委員会

・認知障害に関する包括的検討委員会

(7) 提言「知識集約型社会の拠点となる大学のあり方—2025 年までに達成する社会変革—」について、科学と社会委員会政府・産業界連携分科会渡辺幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(8) 提言「サマertime導入の問題点：健康科学からの警鐘」について、基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同生物リズム分科会深田吉孝副委員長、本間さと委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

- (9) 日本学術会議協力学術研究団体を指定することを承認した。
 - (10) 平成30年度フューチャー・アースに関する国際会議等への派遣方針に基づき、派遣会議及び会議派遣者を決定した。
 - (11) 14件のシンポジウム等の開催、2件の国際会議と3件の国内会議の後援を決定した。
- 3 その他事項として、今後の幹事会等の開催日程について確認が行われた。また、高木学校からの要望及び原子力市民委員会からの再要望について議論が行われた。
- 4 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 機能別委員会における小分科会委員等（特任連携会員）（【分科会】新規1件、【小分科会】追加1件）を決定した。
 - (2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）（追加2件）及び小委員会委員（新規1件、追加2件）を決定した。
 - (3) 課題別委員会における小委員会委員（追加1件）を決定した。
 - (4) 日本学術会議連携会員の辞職の承認に同意することを決定した。
 - (5) 外部委員候補の推薦について承認した。